

久保田芳子著

こどもとリズム

——リズム教育の理論と実際——



山村 きよ

久保田さんは、邦正美先生の一弟子といわれ、現在では幼児と共に「うごきのリズム」「創作舞踊」の研究者として活躍しておられる先生。私との関係は、かつて文部省から出された幼稚園音楽リズム指導書を作った時の仲間です。今回出版されたご本を手にして、最初にかき出された文章の中に非常に興味をもって読み終わりましたので、是非とも「現在の幼稚園や保育園

の先生方に」読んでいただきたいものとご紹介します。

「破壊のすすめ」という文章から始まって、「リズム」ということばのもつ意味、「リトミックとリズム教育の関係」「こどもとリズム」「創造とリズム」「舞踊とこども」など、理論をしっかりとした根底において、一般的には耳なれない「うごきのリズム」の実際指導場面を段階的に、実に上手に指導の

昔のようにあやつり人形ではないにしても、まだまだ「仕込まれているおゆうぎ」の指導場面は消えない現在、幼児教育界に大きな石をなげてくださいました感じの「この本」を多くの先生方におすすめていたします。

「手ほどき」をされています。

とかく、何かと一方的に片よりや省していただきたいもの、わらべ歌もリズム遊びも自由表現も、すべては、こどもの生きた姿の中でこそ生まれ出るもの、先生によって引き出されるもの……こうしたことがみんな、この本を読んでいるうちに納得されるのではないのでしょうか？

（聖徳学園短期大学）
れんが書房発行 定価八〇〇円